

独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHOさいたま北部医療センター

平成29年度 第2回 地域協議会 議事録

- 日 時：平成30年3月9日（金） 20：00～21：00
- 場 所：さいたま北部医療センター 大会議室
- 議 題：1. 新病院について
2. 収支状況の説明について
3. 患者満足度調査結果の実施結果について
4. 地域医療の現状について
5. 当院への要望等について
- 出席者：松本吉郎（大宮医師会会長）、田中孝之（さいたま市北区自治連合会会長）、黒田豊（院長）、小池信行（副院長）、中條洋（院長補佐）、安藤さとみ（総看護師長）、志村敦（事務長）、齊藤篤志（事務長補佐）、佐藤弘明（総務企画課員）
- 欠席者：青木龍哉（さいたま市保健福祉局理事）、永田翔（さいたま市保健福祉局地域医療課長） 議会中のため
百村伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター長） 体調不良のため
- 概 要
 - 1. 新病院について
 - ・ 建設に係る進捗状況について（齊藤事務長補佐）
3／8現在、全体の21.4%の進捗状況で工事はスケジュール通り進んでいる。
鉄骨組み上げが終了し、これからは外壁工事に入っていく予定。
 - 2. 収支状況の説明について（齊藤事務長補佐）
 - ・ 今年度については、1月時点で5,200万円の黒字。2月3月を残して、平成29年度は黒字が予定されている。平成30年度の計画は、新病院の開院に伴い、1億9,000万円の赤字である。新病院開院の初年度で、経常費用は3億を予定しているため、今の病院で運営を継続した場合は約1億の黒字が見込まれていた。

入院患者数については、過去 3 年度は 1 日平均入院患者数が 70 名台だったが、今年度は 1 月時点で 80.5 名と大台に乗った。平成 30 年度計画では、入院患者数 32,721 名、1 日入院平均患者数は、89.6 名を予定している。

外来患者数は、今年度 1 月時点で 136,255 名なので、3 月まで稼働しても昨年度の 165,029 名を下回る見込みである。要因としては、午後の新患外来枠を削ったため外来利用患者数が減るためである。

休日夜間急患センターの患者数は、例年の平均を取って当院の外来患者の 14.5%23,978 名を計画している。

質問等

- ・平成 30 年度の計画は、ほぼ今の病院での年度末決算となるが新病院の開院予定はいつか（田中氏）
 - ⇒ 平成 31 年 3 月予定のため、今の病院と新病院での 1 か月が平成 30 年度の決算となる。
 - 開院の前後で、入院患者数を減らさないと引越しに支障をきたすので、その数字も見越しての数字である。（黒田院長）

- ・新病院の病床機能は（松本会長）
 - ⇒ 58 床が地域包括ケア病床、105 床を一般病床とする予定。（志村事務長）

- ・4 月からの一般病棟入院基本料はどの区分で届出をする予定か。また、今現在の看護必要度はいくつか（松本会長）
 - ⇒ 急性期一般入院基本料 1 を届出したいと考えている。新病院で地域包括ケア病棟に重症度の低い患者が入院すると別の病棟で重症度が上がって維持ができると思う。看護必要度は、現行で 32%なので、診療報酬改定後も問題はないだろう。（黒田院長）
 - ⇒ 今の 118 床で看護必要度が 32%あるので問題ないと思うが、163 床に増加した際、さらに必要度を上げなければならないだろう。2 年後には 10 対 1 に改定されるので、苦しければ 10 対 1 を選択して、切り抜けることも案である。よくシミュレーションをするように。（松本会長）

3. 患者満足度調査結果の実施結果について（齊藤事務長補佐）

- ・平成 29 年度の実施結果資料を基に説明。
- ・結果をまとめた中條院長補佐より
 - ⇒ 個別の職員については、全国的平均に達していると思う。全職種、今回の点数を基に改善計画を既に提出してもらっているので、来年は、さらに全国平均の上位へいけるように努力していきたい。

質問等

- ・全国で何施設あるか（田中氏）
 - ⇒ 57 病院（齊藤事務長補佐）

- ・リハビリ部門の点数が少々低い理由は（田中氏）
 - ⇒ 当院は、理学療法士 1 名、あん摩マッサージ師 2 名でスタッフが不足している。加えて、リハビリを行う部屋が狭く古いため、入院患者にはベッド脇で行なったり、廊下を利用したりする内容となっている。大部屋で行うリハビリのため、どうしてもプライバシーの点数が下がってしまう。4 月から理学療法士が 1 名着任するため、新病院では大きなリハビリテーション室を計画しているため、30 年度、31 年度と点数は上がっていくだろう。（中條院長補佐）
 - ⇒ 施設の老朽化は影響受けるだろうし、整形外科を中心にしてきた病院でもないもので、中々難しいだろう。（松本会長）

- ・全国 57 病院のリハビリの体制は統一されるか（田中氏）
 - ⇒ 病院によってリハビリの機能が異なるので、例えば、整形外科を中心にしている病院、脳神経外科を標榜している病院はリハビリが充実している。当院も常勤の整形外科医師を確保するため、医療機関へ挨拶回りをしているが、同時に理学療法士を増やしていきたい。（黒田院長）

4. 地域医療の現状について

5. 当院への要望等について

（田中氏）

- ・地域住民も期待しているので、自治会の機能（回覧、ポスター等）で協力でき

るところは協力したい。

(松本会長)

- ・これからスタッフの確保が大変ですが、頑張ってください。

次回の開催は、来年の9月10月を予定しているので、早めの日程調整を行う予定。

委員の交代について

志村事務長⇒退職

齊藤事務長補佐⇒相模野病院へ転勤

以上